



2026年3月5日

各 位

会 社 名 株式会社タカショー
代表者名 代表取締役社長 高岡 伸夫
(コード番号：7590、東証スタンダード)
問合せ先 常務執行役員
経営管理本部副本部長 井上 淳
(電話：073-482-4128)

連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年8月27日に公表しました2026年1月期(2025年1月21日～2026年1月期)通期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異について

2026年1月期通期連結業績予想と実績の差異(2025年1月21日～2026年1月20日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	21,736	463	470	160	9 49
実 績(B)	20,246	218	717	198	11 78
増 減 額(B-A)	△1,489	△244	247	38	—
増 減 率(%)	△6.9	△52.8	52.7	24.1	—
(ご参考)前期実績(C) (2025年1月期)	19,890	△150	83	△242	△14 41
前期末比(%)	101.8	—	856.6	—	—

(差異の理由)

売上高につきましては、当社の中核であるプロユース事業は、公共・商業施設向けやデジタルツールを活用した提案活動が奏功したことから前年比106.3%と極めて堅調に推移致しました。また、連結子会社の(株)タカショーデジテックにおいても、屋外照明や新たな成長領域を取り込んだことにより前年比116.3%と伸長したことから当初計画通り推移いたしました。

一方で、ホームユース事業においては、主力販売先であるホームセンター業界の低迷の影響を受け、当初計画を下回る結果となりました。海外事業につきましても、市場価格の統一化を図るべくネット販売を一時的に停止し実店舗販売へのシフトを推進したことにより、一時的に当初計画を下回る推移となりました。

これらにより、連結売上高は前回発表予想比6.9%減の20,246百万円となりました。

利益面におきましては、売上高の減少を補うべく、広告宣伝費や販促費の精査、効率的な組織運用による人

件費の抑制など、全社を挙げた徹底したコスト管理を推進いたしました。

その結果、営業利益は前回発表予想比で 52.8%減の 218 百万円となるものの、前年実績 (150 百万円の損失) からは 369 百万円増の大幅な黒字転換となりました。

さらに、経常利益につきましては、円安進行に伴う為替差益が想定を大きく上回る 419 百万円発生したことから、前回発表予想を 52.7%上回る 717 百万円 (前年同期比 856.6%増) と大幅な上方修正となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、法人税等の負担率を考慮しつつも、経常利益の伸長により前回発表予想を上回る 198 百万円の結果となりました。

以 上